

## 第72巻1号 正誤 Errata of Vol. 72 No. 1

頁 (page)	行 (line)	誤 (For)	正 (Read)
36	↓ 2	<i>Ch. angusto ellipsoidea</i> , sp. nov,	<i>Ch. angustoellipsoidea</i> , sp. nov.
36	↑ 18	<i>Chlorella angusto ellipsoidea</i>	<i>Chlorella angustoellipsoidea</i>
36	↑ 2	<i>Ch. angusto ellipsoidea</i>	<i>Ch. angustoellipsoidea</i>
39	↓ 9	<i>Chlorella angusto ellipsoidea</i>	<i>Chlorella angustoellipsoidea</i>
41	↑ 5	<i>Chlorella angusto ellipsoidea</i>	<i>Chlorella angustoellipsoidea</i>
43	↑ 4	<i>Ch. angusto ellipsoidea</i>	<i>Ch. angustoellipsoidea</i>

\*本紙72巻2号 (p128) に掲載した72巻1号の正誤表に、印刷上の手違いから、新たな誤りが発生しました。このため、ここに改めて72巻1号の正誤表を掲載いたします。

## 新 刊

□ 李 永魯：韓国植物図鑑 **Flora of Korea** A4版 1237pp. 1996. 教学社. 180,000 ウォン.

□ 李 愚喆：韓国植物名考 **Lineamenta Florae Koreae** I, II B5版 2383pp. 1996. アカデミー書籍. 345,000 ウォン.

□ 李 愚喆：原色韓国基準植物図鑑 **Standard Illustrations of Korean Plants** B5版 624pp. 1996. アカデミー書籍. 150,000 ウォン.

朝鮮半島の植物を総纏めした大部の著書が相次いで発行された。それぞれ李 永魯, 李愚喆の長年にわたる研究を纏めた努力の結晶である。1979年に出された李 昌福氏の大韓植物図鑑と共に、これらの著書に依って韓国の植物は非常に調べ易くなった。

韓国植物図鑑は朝鮮半島にみられる種子について、野生植物、帰化植物、栽培植物の殆どである3637種を採録し、カラー写真約3000枚を載せて解説している。写真の多くは専門家によるもので見事である。また著者自身が北朝鮮の白頭山に何度も登山して、北朝鮮の植物の写真の充足に努めているので、珍しい写真がかなり収録されている。記述はハングルでなされているので分かりにくいですが、学名の他にローマ字で日本名が付されているので、日本人にも利用しやすい。巻末に112の新学名が記述されている。

韓国植物名考はシダ植物以上の維管束植物

について、朝鮮半島の総ての植物の学名を考定したもので、著者の長年の研究を纏めたものである。日本ではこの仕事はまだ完成していないが、種名の基礎として大切な仕事である。第I巻には著者の認めた学名とその異名、分布、生活型が記されている。かなりの新学名も見られる。第II巻には学名の索引と文献が載せられている。この研究には東大、京大、科学博物館の標本を調べ、一万枚のスライドを制作したものが基礎になっている。謝辞に何も載せられていないが、李氏夫人の呉 慶玉氏の多大の援助のもとにできたものである。夫人は李氏の研究のため、中学校長の職をやめて李氏に同伴し、標本の出し入れや写真撮影の手伝いをして援助した。こうした陰の援助が研究に大きく役立っているのだから、謝辞に載せるべきであったと思う。

原色韓国植物図鑑は韓国植物名考での学名を基に、朝鮮半島の植物を解説したものである。シダ植物、裸子植物、被子植物2974種類について、標本の色彩図を付けて解説している。学名以外はハングルで記述されているので、内容を知るのは難しい。図は1頁に6種ずつ載せられているが、小さくて見にくい。頁数の制限によるのだろうが、4種ずつにして、もう少し大きくしてくれたらと思う。

これらの本の入手は、原価よりかなり高価になるけれど、東京の亜東書店の販売カタログに載せられている。(山崎 敬)